

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第15期第3四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社タイセイ
【英訳名】	TAISEI CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 成一
【本店の所在の場所】	大分県津久見市大字上青江4478番地8
【電話番号】	(0972)85-0117
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 野村 弘
【最寄りの連絡場所】	大分県津久見市大字上青江4478番地8
【電話番号】	(0972)85-0117
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 野村 弘
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第3四半期連結 累計期間	第15期 第3四半期連結 累計期間	第14期
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成24年 6月30日	自平成24年 10月1日 至平成25年 6月30日	自平成23年 10月1日 至平成24年 9月30日
売上高(千円)	2,654,290	2,956,823	3,355,117
経常利益(千円)	148,923	232,149	127,994
四半期(当期)純利益(千円)	92,063	152,456	70,641
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	92,063	152,456	70,641
純資産額(千円)	793,484	930,791	772,775
総資産額(千円)	2,231,025	2,319,865	2,386,786
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	31.59	51.51	24.24
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	30.23	50.07	22.92
自己資本比率(%)	35.4	40.0	32.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	157,942	277,363	73,072
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	36,090	117,161	35,357
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	143,870	149,739	23,925
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	331,799	305,887	295,425

回次	第14期 第3四半期連結 会計期間	第15期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	2.37	8.78

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合をもって、株式分割を行っております。第14期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、中国をはじめとしたアジア経済の成長減速により不透明感が漂う一方で、円安および株高の進行に伴い、景気の回復期待が高まってまいりました。

当社グループの主要事業である菓子関連の包装資材および食材などの販売事業の業界におきましては、インターネット通販による価格競争の激化などは継続しているものの、自宅でのお菓子作りを趣味とする一般個人は増加傾向となっている状況です。

このような外部環境のもと、当社におきましては、インターネット通販Webサイト「cotta」にて、著名シェフによる直伝レシピの公開、有名プロガーを招いたイベント開催など、積極的な販促活動に取り組みました。

平成25年2月には、「cotta」がYahoo!ショッピングの「提携パートナー」に認定されました。これにより、Yahoo!ポイントを利用して「cotta」で購入することができるようになり、お客様の利便性を高め、さらに認知度および信頼度も高めることとなりました。その結果、平成25年3月には、当社単独の月間売上高が過去最高の3億円を達成いたしました。

また、平成25年4月より、お客様のニーズに応じて九州野菜・果物の宅配サービス「cottaベジ」もスタートいたしました。

さらに、製菓材料の製造および販売を行う子会社の株式会社プティパにおきましては、当社からの発注以外にも、第2四半期連結累計期間において、100円均一ショップへのクリスマスおよびバレンタイン向けチョコレートペンなどの供給も順調に伸び、当社グループの業績向上に大きく寄与いたしました。

以上の結果、売上高2,956,823千円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益177,722千円（同55.9%増）、経常利益232,149千円（同55.9%増）、四半期純利益152,456千円（同65.6%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、10,462千円増加し、305,887千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は277,363千円（前年同四半期比75.6%増）となりました。これは、主に売上高の増加にともなう売上債権の増加23,325千円、法人税等の支払68,183千円、仕入債務の減少80,669千円等による資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益231,764千円に加え、たな卸資産の減少152,868千円、減価償却費68,126千円等による資金の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は117,161千円（前年同四半期は36,090千円の増加）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出76,826千円、無形固定資産の取得による支出29,900千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は149,739千円（前年同四半期比4.1%増）となりました。これは、主に短期借入れによる収入793,200千円による資金の増加に対し、短期借入金の返済による支出889,400千円、長期借入金の返済による支出35,685千円等による資金の減少によるものであります。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,200,000
計	7,200,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,043,400	3,043,400	福岡証券取引所 (Q-Board市場)	単元株式数 100株
計	3,043,400	3,043,400	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日 (注)1	3,018,233	3,033,400	-	287,693	-	247,052
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日 (注)2	10,000	3,043,400	1,030	288,724	1,030	248,083

(注) 1. 株式分割(1:200)によるものであります。

2. 新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

なお、平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。当該株式分割の影響は考慮しておりません。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 191	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,976	14,976	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	15,167	-	-
総株主の議決権	-	14,976	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、1株(議決権1個)含まれておりません。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社タイセイ	大分県津久見市大字上青江4478番地8	191	-	191	1.25
計	-	191	-	191	1.25

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	425,425	440,887
受取手形及び売掛金	82,416	98,530
たな卸資産	624,328 ₁	471,460 ₁
未収入金	135,745	172,496
その他	35,109	16,825
貸倒引当金	703	699
流動資産合計	1,302,322	1,199,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	494,109	487,529
機械装置及び運搬具(純額)	69,588	114,737
土地	276,788	276,575
リース資産(純額)	82,429	69,434
その他(純額)	10,231	11,925
有形固定資産合計	933,148	960,202
無形固定資産		
のれん	55,692	49,533
その他	66,717	77,802
無形固定資産合計	122,410	127,335
投資その他の資産	28,905	32,826
固定資産合計	1,084,463	1,120,364
資産合計	2,386,786	2,319,865
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	253,212	172,543
短期借入金	146,200	50,000
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	47,580	47,580
未払法人税等	39,682	21,016
ポイント引当金	29,963	28,214
賞与引当金	13,796	3,657
その他	122,974	144,497
流動負債合計	953,409	767,508
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	384,380	348,695
その他	76,220	72,869
固定負債合計	660,600	621,564
負債合計	1,614,010	1,389,073

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,875	288,724
資本剰余金	241,234	248,083
利益剰余金	251,765	396,935
自己株式	6,857	6,857
株主資本合計	768,018	926,885
新株予約権	4,757	3,905
純資産合計	772,775	930,791
負債純資産合計	2,386,786	2,319,865

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,654,290	2,956,823
売上原価	1,741,535	1,952,767
売上総利益	912,755	1,004,056
販売費及び一般管理費	798,740	826,333
営業利益	114,015	177,722
営業外収益		
受取利息	399	120
補助金収入	18,989	12,198
協賛金収入	30,009	53,302
その他	1,684	2,489
営業外収益合計	51,083	68,111
営業外費用		
支払利息	13,636	11,049
その他	2,539	2,635
営業外費用合計	16,175	13,685
経常利益	148,923	232,149
特別利益		
補助金収入	5,774	-
特別利益合計	5,774	-
特別損失		
固定資産除却損	945	385
固定資産圧縮損	5,440	-
訴訟関連損失	1,102	-
その他	1,459	-
特別損失合計	8,947	385
税金等調整前四半期純利益	145,750	231,764
法人税、住民税及び事業税	54,568	50,179
法人税等調整額	882	29,128
法人税等合計	53,686	79,308
少数株主損益調整前四半期純利益	92,063	152,456
四半期純利益	92,063	152,456

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92,063	152,456
四半期包括利益	92,063	152,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,063	152,456
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	145,750	231,764
減価償却費	65,597	68,126
のれん償却額	6,019	6,159
株式報酬費用	2,140	801
賞与引当金の増減額(は減少)	8,323	10,138
貸倒引当金の増減額(は減少)	355	4
ポイント引当金の増減額(は減少)	10,072	1,748
受取利息及び受取配当金	399	120
支払利息	13,636	11,049
株式交付費	-	957
社債発行費	1,409	-
補助金収入	5,774	-
固定資産除却損	945	385
固定資産圧縮損	5,440	-
売上債権の増減額(は増加)	7,656	23,325
たな卸資産の増減額(は増加)	41,155	152,868
仕入債務の増減額(は減少)	4,161	80,669
その他	25,209	856
小計	216,718	355,248
利息及び配当金の受取額	570	106
利息の支払額	13,544	9,807
補助金の受取額	5,774	-
法人税等の支払額	51,575	68,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,942	277,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	47,000	-
定期預金の預入による支出	-	5,000
有価証券の償還による収入	50,000	-
有形固定資産の取得による支出	36,528	76,826
無形固定資産の取得による支出	19,728	29,900
保険積立金の積立による支出	4,766	4,766
その他	114	669
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,090	117,161

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	327,200	793,200
短期借入金の返済による支出	385,030	889,400
長期借入れによる収入	67,000	-
長期借入金の返済による支出	68,834	35,685
社債の発行による収入	98,590	-
社債の償還による支出	155,000	-
リース債務の返済による支出	14,292	15,410
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	11,087
配当金の支払額	7,204	7,231
その他	6,300	6,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,870	149,739
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	50,162	10,462
現金及び現金同等物の期首残高	281,636	295,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	331,799	305,887

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
商品及び製品(半製品を含む)	487,104千円	359,120千円
原材料及び貯蔵品	137,224	112,339

2 当社グループは、取引銀行3行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
当座貸越極度額の総額	685,000千円	250,000千円
借入実行残高	96,200	-
差引額	588,800	250,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	461,799千円	440,887千円
預入期間が3か月を超える定期預金	130,000	135,000
現金及び現金同等物	331,799	305,887

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月17日 定時株主総会	普通株式	7,286千円	500円	平成23年9月30日	平成23年12月19日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月22日 定時株主総会	普通株式	7,286千円	500円	平成24年9月30日	平成24年12月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材及び食材等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	31円59銭	51円51銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	92,063	152,456
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	92,063	152,456
普通株式の期中平均株式数(株)	2,914,400	2,959,819
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	30円23銭	50円7銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	131,451	85,132
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	連結子会社の転換社債型新株予約権付社債(券面額面55百万円)を平成24年3月30日に繰上償還しております。	

(注) 当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社タイセイ
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員 業務執行社員 公認会計士 吉川 秀 嗣 印

業務執行社員 公認会計士 大 神 匡 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社タイセイの平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社タイセイ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。